

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 301 2026.7.13

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

第14回チベットセミナー／第32回年次大会

7月11日(土)午後1時30分から波佐まちづくりセンターで、第14回チベットセミナーを開催しました。

開会セレモニーの後、講師：岡崎秀紀会長による『アルゼンチン作家 J.L.ボルヘス (1899-1986) と仏教について』とパワーポイントによる「能海寛に関する寺本婉雅と水野芥入の書簡」の2本立てでセミナーを行ないました。



7月12日(日)午前10時より32回年次総会を開催しました。岡崎会長の挨拶、大屋島根県議の祝詞を頂きました。執行部提案の5議案が全て原案どおり可決承認されました。

午前11時から会員研究発表「日本人初の入蔵僧・能海寛(1868-1901?)のチベット探検—四川・青海・雲南の3ルート、能海と河口慧海の旅の比較—」岡崎会長が行いました。

午後1時から記念講演『石見人(いわみびと)の生き方—堀田仁助を中心として—』講師：神 英雄氏(島根地理学会顧問)をお迎えし堀田仁助の業績を拝聴しました。引き続き、会員研究発表では、「近代日本とインド・スリランカとの学術交流の研究 序説」発表者：奥山直司氏(能海寛研究会副会長)。「創作『寧夏峻嶺巡る東の間の行から』考えること」発表者：楊 暹氏(能海寛研究会員)の発表を頂きました。



記念講演の様子



講師の神英雄氏



会場の風景



岡崎秀紀氏



奥山直司氏



楊暹氏



能海寛のパネル展示